

1 教 育 目 標

(1) 本校の教育目標

子どもの未来の可能性を大切にし、心身共に健康でたくましく生き抜く力と思いやりのある人間性豊かな今西の子を育成する。

- 進んで学び よく考える子(自立)
- [めざす児童像] ○ みんなのために尽くし よく働く子(自律)
- 心もからだも たくましい子(自立)
- 力を合わせ きまりを守る子(自律)

(2) 経営方針

「自立を支援し、自律を学ばせる」という共通理解のもと、教職員相互の信頼関係を深め、同僚性を高め、「チーム今西」として、教育目標の具体化をすすめる。

- ① 個性を生かし、目標に向かって他者と協働して課題を解決していく子どもの育成に努める。
(確かな学力の育成)
- ② 自己肯定感を高めるとともにいのちを尊び、思いやりのある人間性豊かな子どもの育成に努める。
(豊かな心の育成)
- ③ 規則正しい生活習慣を身につけるとともに、健康で安全な生活を送る基礎を備えた子どもの育成に努める。
(健やかなからだの育成)
- ④ 信頼される開かれた学校づくりを進め、地域の人材活用や地域との連携を図ることに努める。
(信頼される学校づくり)

(3) 本年度の重点努力目標

① 確かな学力の育成のために

ア 児童一人一人が学ぶことの楽しさや成就感を味わわせ、基礎的・基本的な知識や技能を身につけるための指導改善をすすめる。

- ・体験活動の充実 ・学習ルール of 5 か条の徹底 ・学習の流れが分かる板書
- ・発達段階に応じた話し方・聞き方の指導

イ 思考力・判断力・表現力を高めるための言語活動を生かした協働的な授業づくりをすすめる。

- ・モデルやパターンを提示した書き方指導 ・ふりかえりや定着のための時間の確保と活用
- ・話し合い活動を取り入れた授業づくり

ウ 一人一人に応じた、適切な支援と指導の充実を図る。

- ・ユニバーサルデザインの推進 ・特別支援学級や特別支援協力員との連携

エ 情報モラルを身に付けさせるとともに、必要な情報を適切に活用する学習をすすめる。

- ・情報モラルの教育の充実 ・ICT 機器・学習者用 PC の効果的な活用

② 豊かな心の育成のために

ア 信頼関係のある温かい学級づくりを進める中で、互いに認め合い励まし合える子を育てる。

- ・ふれあいタイム・つぶやきメール・Q-U・スクールライフノートの活用

イ 道徳教育を一層充実させ、コミュニケーション能力や思いやりの心や規範意識を身に付けさせ、人間関係づくりの基礎を育てる。

- ・ピアサポート・ソーシャルスキルトレーニング

ウ キャリア教育ノートの活用、人権教室などの活動を通して、自己肯定感を高め、自分らしい生き方を実現させる力を育てる。

エ あいさつ運動・委員会活動など児童による児童のための活動の充実を図る。

オ 委員会活動・クラブ活動・通学団・ペア学年での活動など異学年とのふれあい活動を重視し、思いやりの心を育てる。

③ 健やかなからだの育成のために

ア 今西つ子のめあてを合言葉に基本的生活習慣の定着に努め、健康的な生活を送る基礎を育てる。

・あいさつ、返事、正しい言葉遣いの励行・早寝・早起き・朝ごはんの定着

イ 体育の授業や体育的行事を通して、体力向上を図るとともに運動する楽しさを味わわせ、進んで運動に親しむ態度を育てる。

ウ 危険予知トレーニングを取り入れて健康安全に留意し、生命を尊ぶ生活態度を身に付けさせる。

④ 信頼された学校づくりのために

ア いじめ、不登校、けが、交通事故、自然災害などへの教職員や学校の危機管理能力と対応力を高め、安心・安全な学校づくりに努める。

イ 学校だより、学年通信、ホームページの充実にも努め、保護者や地域への見える化を進め、安心・安全な学校づくりへの理解と協力体制を図る。

ウ 教職員の多忙化解消を推進し、教職員が一人一人の児童に向き合い、質の高い授業や個に応じた指導の充実を図る。

・校内現職教育の充実 ・ICT 機器活用による業務改善 ・

エ コミュニティ・スクールを柱とした家庭・地域・他校との連携と相互理解を図り、開かれた学校づくりをすすめる。